

製品名: CLLD7 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09052**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	58kDa

抗原情報

遺伝子名	RCBTB1
別名	RCBTB1; CLLD7; E4.5; RCC1 and BTB domain-containing protein 1; Chronic lymphocytic leukemia deletion region gene 7 protein; CLL deletion region gene 7 protein; Regulator of chromosome condensation and BTB domain-containing protein 1
遺伝子 ID	55213.0
SwissProt ID	Q8NDN9
免疫原	抗血清はヒト RCBTB1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 251-300

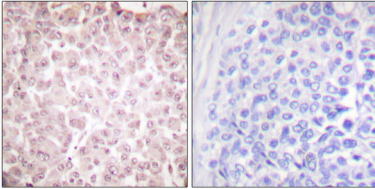
背景

この遺伝子は、N末端にRCC1ドメイン、C末端にBTB (broad complex, tramtrack and bric-a-brac) ドメインを持つタンパク質をコードしています。ラットでは、血管平滑筋細胞におけるこの遺伝子の過剰発現により細胞肥大が誘導されました。ラットでは、RCBTB1のC末端がアンジオテンシンII受容体1Aと相互作用します。ヒトでは、この遺伝子はB細胞性慢性リンパ性白血病やその他のリンパ系悪性腫瘍で高頻度に欠失する染色体13q領域にマッピングされています。[RefSeq提供、2008年7月]機能:クロマチンリモデリングによる細胞周期制御に関与している可能性がある。類似性:1つのBTB (POZ) ドメインを含む。類似性:2つのBTB (POZ) ドメインを含む。類似性:6つのRCC1リピートを含む。組織特異性:普遍的に発現する。、

研究分野

-

画像データ



RCBTB1抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。